

普及現地情報

発信年月日：令和元年（2019年）12月19日
所属名：甲賀農産普及課
番号：C19041
部門分類：610（担い手育成）
発信者名：野村

Koka CFA クラブ員が奈良県の先進地を視察

12月2日から2日間、Koka CFA（甲賀地域青年農業者クラブ）の先進地視察研修が開催され、当課は事務局として支援しました。奈良県の先進的な野菜の農業経営を学ぶために、種苗会社の大和農園の戸口氏と奈良市の若手農業者のグループである奈良市4Hクラブの前田氏、萩原氏、青木氏からお話を伺いました。

大和農園の戸口氏からは、ツケナやスイカなどの栽培方法やキャベツの新品種について紹介していただきました。クラブ員は、提案された栽培方法と自分の栽培状況を比較し、栽培のコツを質問していました。また、キャベツ新品種の食べ比べも行い、クラブ員は品種ごとの味の違いに驚いていました。

奈良市4Hクラブの前田氏、萩原氏、青木氏からはトマトやイチゴを中心とした経営の概要と地元洋菓子店への営業や百貨店での販売、海外への輸出などの販売先の確保・拡大やブランド化の取組についてお聞きし、併せてハウスや栽培設備を見学させていただきました。クラブ員はトマトやイチゴのハウスの規模や作業量の多さ、さらなる拡大を計画している若手農業者の貪欲な姿勢に圧倒されていました。また、最新の栽培設備やブランド化への投資などについて熱心に質問されていました。視察研修を通して、クラブ員たちは先進地の人々の熱意に触発され、スイカやイチゴなどを取り入れた経営や販路の拡大に強い意欲を示されていました。



大和農園戸口氏による
栽培管理の説明



イチゴ生産者萩原氏の
話を聞くクラブ員